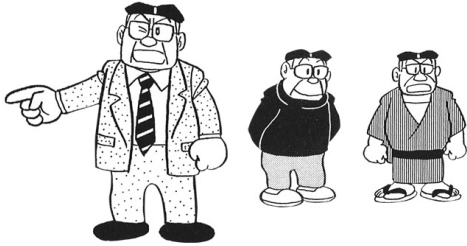


## 「目は前に」

今日は、この人のお話をします。

誰でしょう。わかりますか？ そうです。のび太君の担任の先生ですね。

のび太くんがテストでよい点を取れずに落ち込んで、下を向いて、とぼとぼ歩いている時のことです。見かねた担任の先生が、のび太くんにこんなことを言いました。



「目が前についてるのはなぜだと思う？

前へ前へと進むためだ！

過ぎたことにくよくよせず、

前向きに頑張りなさい。」

この言葉に大変感動したのび太君は、この感動を誰かに伝えたくて仕方がありません。しずかちゃんに得意げに話しました。「しずかちゃん、目が前についてるのはなぜでしょう？」

突然、のび太君にむずかしい質問をされて、しずかちゃんはこう答えました。

「決まっているわ、目が後ろについていたら髪の毛が邪魔だもの。」

……！！ 優等生のしずかちゃんにしては、少し変わった答えでしたね。

さて、このことについて、もう一度みんなでしっかり考えてみましょう。

なぜ、目は前についているのでしょうか？

ライオンなどの獲物（えもの）を捕える必要がある肉食の動物は、獲物（えもの）までの距離を測るために、目が二つ前についています。逆に、キリンなどの草食の動物は、敵が近づいてくるのを素早く知るために、目が一つずつ顔の左右の両側についています。

このような、生物学的な見方はありますが、のび太君の担任の先生は、「失敗してしまったことをいつまでも悔やんでいないで、ものごとを前向きに考えなさい。それは、結果として、今後の出来事がいい方向へつながっていく。」と伝えなかったのです。

不思議なことに、前向きにものごとを考えていると、色々なことが良い方向へ進んで行きます。逆に、自分はもうダメだと、思い悩んで、後ろ向きな気持ちでいると、よくないことが次々に起きてしまうことがよくあります。

少なくともライオンなどの肉食の動物は、逃げるために目が前に二ついているわけではありません。目の前のつかまえるべき獲物（えもの）をねらうために、目が前についているのです。

私たち人間は生まれつき目が前についています。どんな困難に見舞われても、どんな悲しみにおそわれても、私たちは、生まれついて、前に進むために生まれてきたのです。

今回の大地震で被災した方々も、苦勞を乗り越え、今は前向きな考えをもち、新しい生活に向かって立ち上がっている様子がテレビで紹介されています。

校長先生は、いつでも前向きに物事を考えています。

みなさんも、いつも明るい気持ちを忘れずに、何事も前向きに考えて、学校生活を送って下さい。